



つぎは
どんな
未来だろう

UTSUNOMIYA
MIYANA 2025

全国から選ばれる「交通未来都市うつのみや」を目指して

NCC

令和5年8月26日、全線新設のLRTとしては、国内初となる「ライトライン」が開業しました。
通勤・通学や買い物、観光での利用など、多くの方に利用いただいております、日常生活の移動手段の一つとして、定着してきています。

△ライトライン
公式ポータルサイト

▽西側延伸路線図

最新情報は **ライトライン 駅西側延伸**

▽2050年に向けたJ R宇都宮駅西口周辺地区の将来イメージ

ライトライン沿線のまちづくり

◀ JR 宇都宮駅
西口周辺地区の
整備
県都の玄関口にふ
さわしい魅力あふれ
る空間を創出するた
め、官民一体となった
まちづくりを推進

▶ アークタウン宇都宮
(東部総合公園)
国内外の大会に対
応できる全天候型の
スケートパークを核
とした新たな賑わいの
拠点となる公園を整
備 (令和8年3月開園予定)

交通系 IC カードを利用
すると、公共交通がお得！

バスの上限運賃制度

片道運賃の上限が
400円!

条件

- 午前9時～午後4時の降車
- 市内での乗り降り
- 交通系 IC カード「totra」や「Suica」など利用時

乗継割引制度

ライトライン ⇄ バス 100円割引	ライトライン ⇄ 地域内交通 200円割引
バス ⇄ 地域内交通 200円割引	バス ⇄ バス 200円割引

条件

- 60分以内の乗り継ぎ
- 交通系 IC カード「totra」利用時のみ

ライトラインは、JR 宇都宮駅西側への延伸に向け、宇都宮駅東口停留場から教育会館付近までの区間を整備区間として、各種検討中

整備効果について詳しくはこちら▽

うつのみやの実力

住めば
愉快だ
宇都宮
UTSUNOMIYA

住んで良し、働いて良し、宇都宮市は100年先も持続可能な都市として評価されています。

◎共働き子育てしやすい街※1 **第2位** **2年連続!**

◎SDGs 先進度 環境分野※2 **第1位** **総合順位でも7位!**

※1 2023年・2024年版
日経xwoman × 日本経済新聞社「共働き子育てしやすい街ランキング」20万人以上の都市
※2 日経グローバル「第4回SDGs先進度調査」全国815市区

ライトラインの整備効果

ライトライン沿線人口
約5,600人(10%)増加

市全体の人口が減少傾向にある中、ライトライン沿線の人口は増加
H24.9月末(約5.9万人)
R 6.9月末(約6.4万人)
(出典：市「住民基本台帳」)

受賞実績

- バリアフリー化推進功労者大臣表彰
- 2024年 ローレル賞
- グッドデザイン賞
- ...and more!!

GOOD DESIGN AWARD 2023

開業前と比較して
ライトライン沿線内の
40歳以上の
1日の平均歩数
349歩増加(+7%)

歩数の増加による医療費抑制効果は
年間約2.9億円
↓
約3.3億円

出典：令和5年度ライトライン開業後における生活行動意識調査

ライトライン沿線の地価
商業地 **約6%上昇**
住宅地 **約11%上昇**

ライトライン沿線の地価は、事業化が確実になった平成25年頃以降、上昇基調が継続している。

栃木県内の地価上昇ランキング(住宅地)

順位	市町村	R5→R4増減率
1	宇都宮市	+7.5%
2	宇都宮市	+4.3%
3	宇都宮市	+4.1%

ライトライン沿線がトップ3を独占!

(出典：国土交通省「地価公示」)

夢や希望がかなうまち「スーパースマートシティ」

住めば
愉快だ
宇都宮
UTSUNOMIYA

100年先も発展し続けるまちの姿である「NCC」を土台に、

地域経済循環社会 地域共生社会 脱炭素社会

の3つの社会が、「人」づくりの取組や「デジタル」技術の活用によって発展する「夢や希望がかなうまち」

NCC(ネットワーク型コンパクトシティ)とは
中心市街地やそれぞれの地域拠点、産業・観光拠点にまちの機能を集約し、それらを利用性の高い公共交通などで連携した都市

1 人口 2 環境 3 経済 4 社会 5 文化 6 健康 7 安全 8 防災

人・モノ・情報が行き交う「地域経済循環社会」
絆を深め、共に支え合う「地域共生社会」
CO2排出量を削減し、持続可能なまちづくりを実現する「脱炭素社会」

持続可能なまちづくりの基盤
NCC(ネットワーク型コンパクトシティ)

宇都宮市は、令和元年7月にSDGs未来都市に選定されています。

共創のまち うつのみや

市民・事業者・団体・行政などが一体となり、市民サービスの向上や新しい価値の創造を目指す、「共創のまちづくり」を進めています。

ミヤ・共創ラボ

事業者や各団体が手を組み、地域課題等の解決に向けた取組を研究
(実証実験などへの支援制度 上限100万円)

うつのみや未来創造プロジェクト(通称：みやプロ)

官民の若者がつながり、「宇都宮市にあってほしい取組」について議論し、新たな取組を実践

東京オフィス

東京圏の多種多様な企業や人と新しい関係を構築し、行政や市内企業との事業連携や協業を促進

うるま市との友好都市提携

令和6年8月3日、本市として国内都市では初となる友好都市の提携を沖縄県うるま市と締結

子育てにやさしいまち うつのみや

全国トップクラス

人づくり 共生

妊娠前から出産まできめ細かな支援

- 妊産婦さんへの医療費の助成や妊産婦健康診査の16回分の助成、産後ケア事業など幅広く支援
- 将来の妊娠を考えながら生活や健康に向き合う「プレコンセプションケア」を推進

女性の健康管理アプリ
◀「ルナルナ」の有料版を無償で提供

小中学校等の給食費の支援

小中学校、保育施設等の給食費を、月額2,000円を上限として、児童生徒の保護者に対して支援

第2子以降の保育料(0歳～2歳)の無償化

世帯年収や第1子の年齢を問わず、0歳から2歳に係る第2子以降の保育料を無償化

こども医療費の無償化

18歳到達後最初の3月31日までのお子さんが、医療機関等を受診した際の医療費(健康保険適用の自己負担分)について、市が全額負担

全天候型子どもの活動の場の充実

今後さらに増設予定!

うつのみや表参道スクエア6階の「ゆうあいひろば(子どもたちのあそび広場)」では、大型アスレチックなどの様々なあそびや読み聞かせ、工作などの活動を提供

令和4年度以降、年間を通した待機児童ゼロを達成!

学びをつなぐ うつのみや

人づくり 共生

小中一貫教育カリキュラム

- 「宮っ子心の教育」「宮・未来キャリア教育」「元気アップ教育」など、義務教育9年間を通して指導
- 小学校1年生から独自に英語の授業を行い、コミュニケーション能力を育成

宇都宮学

「過去」「現在」「これから」の3つの視点をつないで学ぶ「宇都宮学」の授業を実施し、児童生徒の郷土への愛情や誇りを育成

百人一首のまち うつのみや

百人一首誕生に関わった5代宇都宮城主・宇都宮頼綱にちなみ「百人一首ゆかりの地」とされており、毎年市民大会を実施

オンラインの居場所「U@りんくす」

メタバース空間を活用し、不登校の子どもたちの「学びの機会」を確保し、オンラインでの学習支援や相談、体験活動ができる環境を提供

つながる 出会う 広がる

〇×ひろば
ホームルームやライブ配信を実施
個別対応が可能

my学習スペース

交流スペース
カメラやマイクなどを使って「U@りんくす」の仲間と交流

わくわくコンテンツ
作成した動画などを紹介

↑U@りんくすのHPはこちら!